



# 看護局いきいき通信



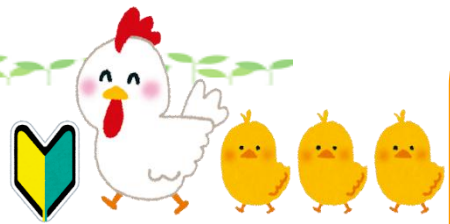
編集委員：中村 宮川

令和5年9月発行(年3回発行：1号)

発行責任者：岡本

皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。引き続き看護局の動向や、院内・外でのイベント情報などを伝えていきますので、取り上げてほしい話題などがあれば各部署の図書委員まで気軽に声をかけて下さい！！

## 新人ナースの声



まだまだわからないことも多く大変ですが、先輩方からの優しい指導や先輩方の姿をみて、あこがれや目標をもちながら看護とは何か、日々勉強させていただいています。地域包括ケア病棟では退院支援を進める役割が大きいため、患者さんの状態を理解し、患者さんと家族の希望にそった退院支援ができるようになりたいと思っています。

今は、自身の看護を磨くことに精一杯になってしまっていますが、自分のことだけでなく患者さんとのかわりを大事にして目標に向かいながらステップアップしたいと思います。

4A INs



3B 病棟へ配属となって初めてのことで分からないことが沢山ありましたが、毎日先輩方に優しく丁寧に、指導して頂き、日々できることが少しずつ増えてきました。

同時に不安も大きくなっていますが、患者さんからの「ありがとう」「頑張ってるね」といった言葉や、患者さんが元気に退院される姿をみて、嬉しさや看護師のやりがいを感じ、日々頑張ろうと思えます。まだまだ分からないことや出来ないことも多いですが、先輩方に追いつけるように頑張っていきます。

3B MNs



私は患者さんの身体的な面だけでなく、精神面でも患者さんを支えることができる看護をしたいという看護観を持っています。

不安を抱えた患者さんに対して、少しでも気持ちが和らぐ瞬間を提供できるよう気持ちに寄り添い関わるよう心がけています。最近では患者さんが笑顔になる瞬間にやりがいを感じ日々仕事に向き合っています。社会人1年目で分からないことも多く戸惑うことも多いですが、現在患者さんや先輩方から学んでいることや、今感じている初心を忘れずにこれからの仕事にも励んでいきたいです。

3B INs

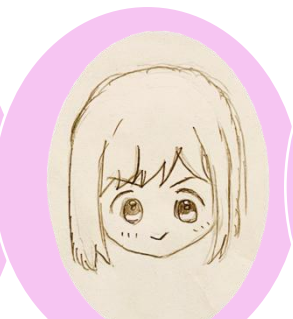


## 看護部会メンバー 紹介



会長 Y 師長

コロナが終息しない現状ですが、できるだけ会員相互の親睦をはかれるように運営していきたいと思っています。よろしくお願いいたします



副会長 KNs

今年度看護部会副会長をさせていただきます。皆さんと親睦を図れるよう精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



会計 FNs

看護部会での活動を通して少しでも皆さんの役に立てればと考えています。1年間よろしくお祈いします。



書記 NNs

3A 病棟のNです。初めて部会を担当させていただきます。楽しく活動させていただき、皆様の笑顔が広がる活動を行なっていききたいと思います。不慣れな点もたくさんあると思いますが、よろしくお願いいたします。



厚生部長 HNs

今年度厚生部長を務めさせても頂きますHです。皆さんに少しでも喜んでもらえるような企画を考えたいと思っています。よろしくお願いいたします。



図書部長 YNs

いきいき通信を発行し、情報の共有をしていきたいと思っています。また、能力の向上に繋げていけるように図書費を活用したいです。

## 疼痛管理チーム

### 術後疼痛管理チームについて

術後疼痛管理チームは手術を受けた患者さんの痛みや吐き気などの苦痛を緩和するための多職種医療チームであり、術後患者さんの安楽と早期回復を活動目的としています。また当院では2023年3月より術後疼痛管理チーム加算を算定しています。

### 術後疼痛管理チームメンバー(2023年8月現在)

- I Dr (麻酔科医師) F Dr (麻酔科医師)
- S Dr (麻酔科医師) W Ph (薬剤師)
- A Ns (特定行為看護師/臨床工学技士)
- H Ns (看護師長) H Ns (看護師)

### 活動日および活動内容

火曜日から金曜日、PCEA(硬膜外自己調節鎮痛法)またはIV-PCA(静脈内自己調節鎮痛法)を装着されている術後1日目の患者さんを対象にチーム回診を実施しています。多職種で多角的に患者さんの疼痛やPONV(術後悪心嘔吐)の評価を行い、必要時には積極的に介入しています。また患者さんや病棟スタッフからの質問や相談にも応じています。

術後安全管理のためにチーム内ではもちろん、主科医師や病棟看護師とも積極的にコミュニケーションを図り、情報を共有するようにしています。

看護師のみで行う術後訪問と違い、チーム回診を行うことで患者さんを多角的に評価し、すぐに介入できるようになりました。術後患者さんの血圧低下やPONVの原因は、PCEAやIV-PCAではありません。疼痛管理看護などについて迷ったときには、気軽にご相談ください。

A Ns ・ H Ns